



MAXI-Swift 連携

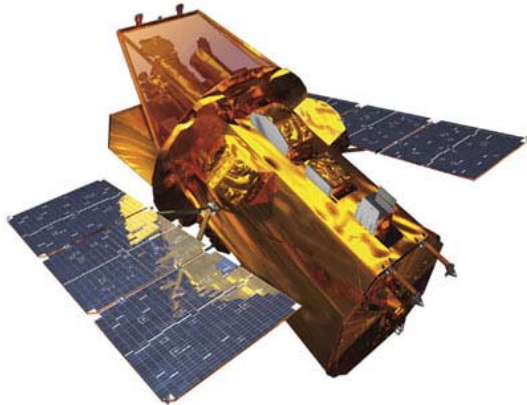
2010年3月16日 MAXI チーム(NK)

- MAXIは国内外の衛星や地上の光赤外・電波・超高エネルギーガンマ線天文台と共同観測を進めています。特に、NASAのガンマ線バースト衛星Swiftとは密接な連携にもとづく共同研究を計画しております。既にMAXIが発見したバーストのSwiftのX線望遠鏡による追観測が行われています。
- 昨年1月、11月に引続いて去る2月28日ハワイでMAXI-Swift連携会議が行われました。MAXIチームから7名が参加し、PI(代表)のゲーレルス博士をはじめとする10名のSwiftチームメンバーと今後の共同観測の方策を議論しました。
- さらに3月2日には米国天文学会高エネルギー宇宙物理学分科会の特別セッション“MAXI and Swift”を行い、約100名の参加者に対して、二つのミッションの連携を広くアピールしました。
- Swift衛星はMAXIが見つけたX線源の追観測のほか、MAXIよりもエネルギーの高い硬X線広視野観測器のデータをMAXIのデータに組み合わせ、さまざまなX線源の分布などに関する共同研究を行います。

MAXI と Swift の共同観測の会議ハワイで開催



米国天文学会のHEAD(高エネルギー宇宙物理学分科会)会議が2010年3月1~4日ハワイで開催された。



Swift 衛星の外観: Swiftは米英伊が中心となり、JAXA,埼玉大の研究者も協力して開発され、2004年11月に打ち上げられた。



ハワイ島のホテルで行われた米国天文学会高エネルギー宇宙物理学分科会 MAXI-Swift 特別セッション 2010年3月2日